



Kuki City version of Learning Innovation

未来への大きなチャレンジ

清久小学校。全校児童142人の小さな学校が今、さまざまな企業や大学と連携し、ICTを活用した最先端の取り組みを実施。全国的な注目を集めています。

未来の教室の創造から 新たなエネルギーが生まれる

一人に一台、端末が配備され、周辺環境が整ったのは、令和2年の7月でした。ICTはこれからの教育を支える大切なツールですが、あくまで一つの手段。端末の操作を早い時点で身につけ、活用することで教科の学びを成立させたいと考えました。

今年度は、年度当初が休校であった関係で夏季休業日が短縮され、例年にならない夏の4週間の課業日が設定されました。この期間に特別日課を組み、端末の基本的な操作・活用を指導する「タブレットタイム」を実施しました。初めは機器のログインに15分程度かかる児童もいましたが、その4週間でログイン、アプリの活用、文字入力に慣れることができました。

今では、児童・職員ともに、前向きにICTを活用した授業に取り組む、学校に新しい風が吹いています。

また、保護者の皆さんにも協力



清久小学校長
川羽田 恵美

